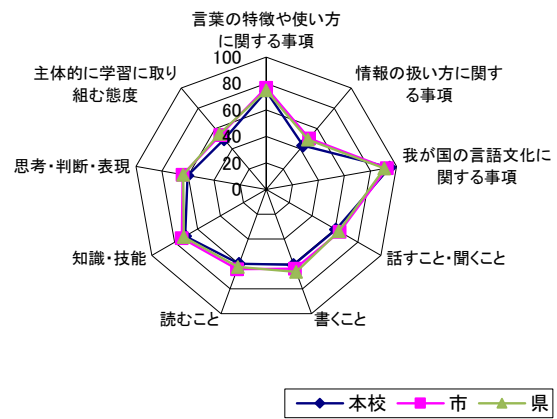


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	74.2	76.9	74.9
	情報の扱い方にに関する事項	43.3	50.3	49.2
	我が国の言語文化に関する事項	94.7	92.6	90.7
	話すこと・聞くこと	60.7	64.2	63.4
	書くこと	60.7	63.7	66.4
	読むこと	59.9	64.2	62.5
観点	知識・技能	70.8	73.7	71.9
	思考・判断・表現	60.4	64.1	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	49.5	53.8	54.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率が県の平均とほぼ同程度である。 ○漢字の読み、書きについては県の正答率を大きく上回っているものがある。 ●文法、語句に関する事項の単語についての正答率が県を10ポイント以上下回っている。	・引き続き単元ごとの漢字テストを行い、学習の定着を図る。 ・文法については苦手意識を持っている生徒が多いので、丁寧な解説、繰り返し問題を解くことで、理解の定着を図る。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率が県より約6ポイント下回っている。 ●情報同士の関係を理解し、必要な情報に着目し、内容を解釈すること、情報を得て、自分の考えを明確にし、話の構成を考えることについての能力が不足している。	・記述に対する苦手意識を持つ生徒が多くいるので、普段の授業から自分の考えをまとめ、文章化することを日常的に行っていく。また、グループ学習、ペア学習を行い、相手に自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりすることで、自分の思考を整理し、まとめることを行っていく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率が、県、市を上回っている。 ○歴史的仮名遣いについて、90パーセントを上回る生徒が理解している。	・古文について興味、関心をもって学習に取り組んでいる生徒が多い。今後も暗唱やペア読みなども行い、古文のリズムや言語感覚に親しみをもって学習を深めていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率が、県、市を3、4ポイント下回っている。 ○自分の考えを明確にし、話の構成を考える問題は県の正答率とほぼ同程度理解している。 ●スピーチを聞き、自分の考えを明確にし、相手に伝えること、話の構成を考えることが県の平均を8～9ポイント下回っている。	・授業でグループ学習や、ペア学習を行い、自分の理解したことを相手にどのように伝えたとより理解が深まるか、伝える機会を増やす。また、タブレット等も利用し、様々な手段で伝えることを学習していく。
書くこと	平均正答率が、県を約6ポイント下回っている。 ○読み取った内容を明確に書く問題は県とほぼ同程度できている。 ●問題の指定に合った書き方、自分の考えを明確に書くことが、県の平均を6、7ポイント下回っている。	・書くこと全般に対し、苦手意識を持っている生徒が多い。繰り返し問題演習を行い、書くことに慣れるようにし、生徒間で読み合いを行い、文章のパターンや、語彙を増やすようにしていく。
読むこと	平均正答率が、県を約2ポイント下回っている。 ○説明的な文章の読み取りは、県の平均とほぼ同程度理解している。 ●文学的な文章の読み取りの、特に表現の効果についてが5ポイント下回っている。	・文章の表現から、登場人物の気持ちを察することができるように、語句の意味を理解し、話し合いから考えを深める授業を展開する。言葉の意味を間違えて捉えている生徒も多いので、辞書の活用や様々な文章に触れる機会を増やす。